

## 第4回総会がありました

——交流活動を新たな柱として——

自治研センターの第4回総会が、12月26日(月)午後3時から電公ビル2階会議室で行われました。

岩淵理事長の挨拶の後、深堀常任理事の進行で総会が始められました。

和田事務局長から1987年度の経過報告および決算報告が行われ、江井幹事より会計監査報告がありました。

引き続き、深堀理事から1988年度の事業計画案および予算案が提起され、承認された後、新役員人事が提案され承認されました。

事業計画の全文は裏面に掲載しましたが、

主なものは以下のとおりです。

従来の調査、研究、学習、出版活動の4本柱に加えて、イギリスのシェフィールド大学、北海道の中標津町など国内外での交流活動が活発になる。予算については、事業収入のうち受託研究に増額を見込んだ。

役員人事については、山岸八郎理事(前全川崎労働組合協議会副議長)と梅沢孝志理事(川崎市職労副執行委員長)が退任され、新たに嶋崎徳男氏(全川崎労働組合協議会副議長)と林光昭氏(川崎市労働組合連合会事務局長)が理事として就任されました。

### 「外国人労働者の人権と自治体」

講師 田辺純夫氏(神奈川県国際交流課)

日時 1月19日(木)午後6時～

場所 市労連会館5階講堂

T. G. A. L. と共催

川崎の国際化を考えるシリーズ。

先頃、今年中にも川崎市に(財)国際交流協会を設立する旨の審議会答申が出た。

「自治体の国際化」。あちらこちらで喧伝されているわりには、その中味がつかめない。

国際姉妹都市交流、あるいは民間企業、

団体で行われている国際交流、貿易、研修等々外国人と接する機会が多くなった。また、海外研修や視察、旅行等私たち自身が外国へ行く機会も多い。

国際化は始まっている。その中で自治体の役割は、市民福祉の観点から、国内市内に在住勤務する外国人の人権をどう保障するかが喫緊の課題であろう。

先進的に国際交流を進める神奈川県職員の話を、市職員の有志で活動している「川崎市の国際化を考える会(T. G. A. L.)」との共催で聴く。

## 第3回理事会報告

1987年度第3回理事会は、12月23日(金)午前10時から市労連会館5階会議室で行われました。

始めに和田事務局長から第2回理事会以後の経過報告がありました。主な経過は、10月31日から11月16日にかけて、川崎市の行っている海外派遣研修第2部の協力依頼と調査のために和田事務局長がヨーロッパに派遣され、イギリスのNUPE(イギリス公務員労働者組合)、フランス大使館、パリ駐在員、ドイツ、オーストリアの各都市を訪問しました。

また、イギリスのシェフィールド大学川崎分校設置の受け入

れについて、シェフィールド大学のプラント副学長、コリック、フック両教授との打合わせ、法政大学、大阪府箕面市への調査などを行いました。

次に第4回総会に向けた1987年度の事業経過報告、決算報告および会計監査報告、さらに1988年度の事業計画案、予算案の提起がありました。

中標津町との酪農後継者対策事業の状況、川崎市が建設する平和館と自治研センターの関係、市政への政策提起とくに行政組織等への提言を考えているのかの質問がありました。

中標津町の後継者対策事業に

ついては、現在2組が交際中である。平和館については、市と市民運動・平和団体との考えの行き違いがあるようなので、自治研センターもその調整に助力している。政策提言については、研究活動等を通じ積極的に努力していきたい旨の回答がありました。

最後に事務局体制の変更が提案されました。シェフィールド大学等国際交流活動が活発になることに伴い、事務局次長に高島正晶(川崎市職労中央執行委員)を新たに置き3人体制とすることとしました。

### 活動報告 1988.10.11~1988.12.22

第2回理事会以降の活動は次のとおりです。

1988年

10月11日(火) 自治研センターニュース№72発行

10月12日(水) 第2回理事会

10月19日(水) 地方自治制度研究会  
中標津酪農体験ツアー反省会

10月24日(月) 読書会(キッチン)

10月26日(水) 定例学習会(アジアからの出稼ぎ  
女性労働者の現状)

10月31日(月) 研究会(大恐慌のアメリカ)

10月31日~11月16日 川崎市海外派遣研修第2部  
協力依頼・状況調査

10月10日(木) 自治研センターニュース№73発行  
地方自治制度研究会

11月12日(土) アリスセンター総会

11月21日(月) 読書会(不忠臣蔵)

アメニティ川崎政策研究所

11月24日(木) 地方自治制度研究会

11月25日(金) 定例学習会(ピースボートの思想  
と方法)

11月26日(土) クラブ生協5万人達成記念式典

11月28日(月) 研究会(新・ルポ精神病棟)  
シェフィールド大学コリック教授  
来川

11月28日~30日 地方自治総合研究所セミナー  
(自治労第2会館)

(戦後40年の地方自治——われわれは今どこにいるのか)

12月1日(木) 自治研センターニュース№74発行

12月6日(火) 大阪府箕面市調査

12月8日(木) 地方自治制度研究会

# 友よ、書を読み 街へ出よう

# 1988年度事業計画 Part 1

## 研究会

「篠原一の〈市民と政治〉5話」

篠原一著 有信堂

日時 1月30日(月)午後6時～

場所 市労連会館4階会議室

ライブラリーポリティクス。地方自治体を中心に徐々に政治が変革されていく。その担い手として、ウーマン・シルヴァー・自治体職員の役割が期待されている。練馬区長選挙を通じ、具体的なわかりやすい政治の展開を説いた著者が読者に語りかける。

講師 佐藤紘毅専任研究員

※読書会は、講師の都合により暫く休止します。

定款第4条の規定に基づき、事業の柱を(1)調査、(2)研究、(3)学習、(4)出版とし、具体的な事業の推進については、正会員から専任する専門委員(約20名)により構成される四専門委員会での討議を踏まえ実施します。

### 1. 調査活動

#### (1) 資料の収集及び公開

川崎市が発行する資料、刊行物等を収集します。また、地方自治に関する参考文献、他都市自治研究センターが発行する定期刊行物、雑誌等も調査活動の一環として収集、購入を行います。会員の教養の向上に寄するため、一般的な図書を購入を行います。視覚に訴えるビデオテープの収集を行います。これらの資料は、すべて公開し、機関紙等で随時紹介していきます。

#### (2) 市民運動・市民自治実態調査

既に同様な調査を実施している他の機関の調査結果を参考にしながら、「新たな住民参加システム」を追求するような調査を実施します。

### (3) 川崎市民の市政意識調査

第2回の調査を実施します。

革新市政の継承を明確にし、市民の市政に対する要求や希望を把握できるような調査内容にします。

### 2. 研究活動

#### (1) 政策研究「アメニティ川崎」

新たな革新川崎の政策づくりにむけて、引続き「アメニティ川崎」の研究会を開催します。

- ・構成員 高橋 進(東京大学教授)
- 坪井善明(北海道大学教授)
- 新藤宗幸(立教大学教授)
- 中村貢吾センター専任研究員
- 佐藤紘毅センター専任研究員
- 事務局

#### (2) 仮称地方自治制度研究会

「新たな住民参加システムを求めて」というテーマで、研究会を毎月第2・第4木曜日に開催します。

#### (3) 国際化問題研究

自治体の国際化が重要な課題となっています。姉妹

Welcome to Kawasaki  
シェフィールド大学



新聞でも報道されましたように、自治研センターもに、イギリスのシェフィールド大学が、今年4月から5月に、川崎の国際化に向けて、シェフィールド大学・市との交流の発展が期待されます。現在、市側の受け入れ先として教育委員会を中心に検討されています。詳細は次号に掲載します。

ホームスティ、ボランティア募集中  
お問い合わせは自治研センターへ

都市交流をはじめ、内なる国際化の問題としての在日外国人の問題。さらに、自治研センターが関係するセイシェル共和国、イギリスのシェフィールド大学等、具体的な国際化の展開が必要になっています。

川崎市の国際化事業の整理をする意味で、国際化についての研究をすすめます。

## うたぎぬどこ

新しい年を迎え、みなさまには清祥なる気持ちで仕事に励まれていることと思います。本年も、うたぎぬどこを宜しくお願いします。

九八四年、卑近な例での「かわさき二〇〇一プラン」。西暦は未来のイメージが強い。一方、昭和史、昭和の〇〇といった元号の形容は、過去のイメージと結びつく。それはこじつけだという人もいるだろう。それではこうい

だ。月一九九〇年、娘は21、どんな女に変わっているのやら月、淡々としたメロディに単純な詞がのる。やさしい歌だ。

戦後政治のエポック。55年体制、60年代、70年代、80年代、昭和20年代戦後、昭和30年代戦後、昭和40年代、昭和50年代、昭和60年代戦後政治の総決算。

もう一つの私の好きな歌に「昭和枯れすすき」がある。さくらと一郎が唱った薄幸な夫婦の厭世の歌だ。

政治をとらえるイメージが、10年単位のつかみの元号とある年を特定する科学的な西暦との差がわかる。内外に平らかに成るといふ良い意味の新元号ではあるが、残念ながら、いつもその言葉のもつ意味とは異なった元号の歴史がある。

新年早々、俗っぽい話で恐縮する。元号が変わった。「昭和」から「平成」へと。

元号法、憲法論議はさておき、西暦イメージと元号イメージは、どこか違うとらえ方をされているように思う。

元号法、憲法論議はさておき、西暦イメージと元号イメージは、どこか違うとらえ方をされているように思う。

未来を夢見る気持ち。社会を科学的に分析しようとする眼。新年の清らかな気持ちのときに、思いきって元号を使うのをやめてみよう。

オーウェルの「1984」

(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 1. 20  
シェフィールド大学特集号  
発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610

## 川崎で日本研修 4月～5月 5週間

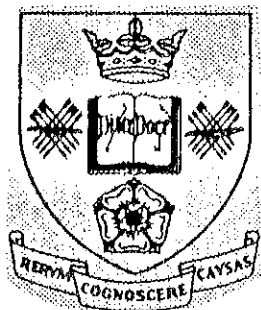
4月下旬に学生（一部オックスフォード大学生を含む）一行が来川し、高津区にある総合教育センターで日本語を学び、市内外各所で日本を学ぶこととなります。

川崎で約5週間の研修を終えた後、大阪府の箕面市でも5週間の研修を行い、東西の日本文化に触れることになっています。

川崎でのシェフィールド大

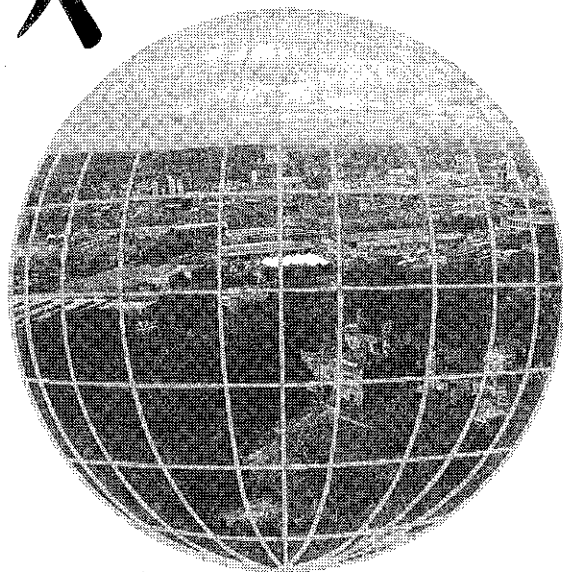
学日本研修事業は、市役所だけでなく、川労協などの労働団体、生協や国際化を考える会などの市民団体、そしてより多くの市民の協力を得ながら、川崎の国際化に向けた大きな一歩となります。

現在、市域にとどまらず、



各方面からのホームステイの受け入れ、ボランティアの協力をお願いしています。未経験の方でも結構ですので、ご

# Welcome to Sheffield Hallam University



# Kawasaki University

4つの愛  
"INTERNATIONAL  
INTERDISCIPLINARY  
INTERIDEOLOGICAL  
INTERGENERAL"

協力をいただける方は、是非自治研センターにご連絡下さい。

## 国際都市川崎に向かって

イギリスにある国立シェフィールド大学が、今年の4月から5月にかけて日本を研究する学生のために、川崎市内で研修を行うことになりました。

シェフィールド大学の日本研究所は、ヨーロッパで最も進んでいるといわれ、大学一年生約40名が来川する予定です。

これまで数年間、毎年夏時期に法政大学で研修していたものですが、今年から3学期

目を日本で行うこととしたため、シェフィールド市と類似する産業都市としての川崎に白羽の矢が立ったものです。

川崎市では、国際化事業の一環としてこの申し出を快く受け入れ、市教育委員会を受け入れの窓口とすることとしました。

シェフィールド大学と川崎市の橋渡し役となった自治研センターも事務局に加わり、現在受け入れのための準備作業を進めています。

ホームステイ・ボランティアを募集しています。

# シェフィールド



## 大学概要

シェフィールド大学は、19世紀前半にその前身としての学校が設置され、1897年に正式に大学として設置されました。

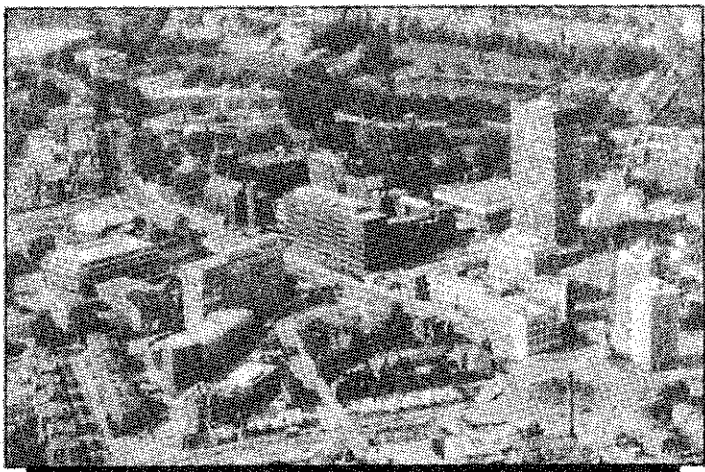
現在、人文科学、純粋科学、医学、法学、工学、社会科学、建築学、教育学の8学部、69学科があり、学生数約8,000人うち大学院生1,400人で、イギリスで10番目に大きい大学となっています。

シェフィールド大学は、世界に広く門戸を開いており、留学生は84ヶ国760人にのぼっています。図書館の蔵書数は約100万冊で、とくにヨーロッパで随一と

いわれる日本研究センターは、2万冊の蔵書を誇り、朝日新聞を含む定期刊行物、政府刊行物を多数購入しています。

イギリスの大学の特色として、産業界との共同研究が活発で、大学で開発された技術や専門知識を産業界で実践するために、6つの大学傘下企業体、16の付属専門サービス機関を有しています。

工業都市でもあり、田園都市でもある豊かな環境をもつシェフィールド市の中で、スポーツや娯楽施設にも恵まれ、素晴らしい学生生活を送っています。



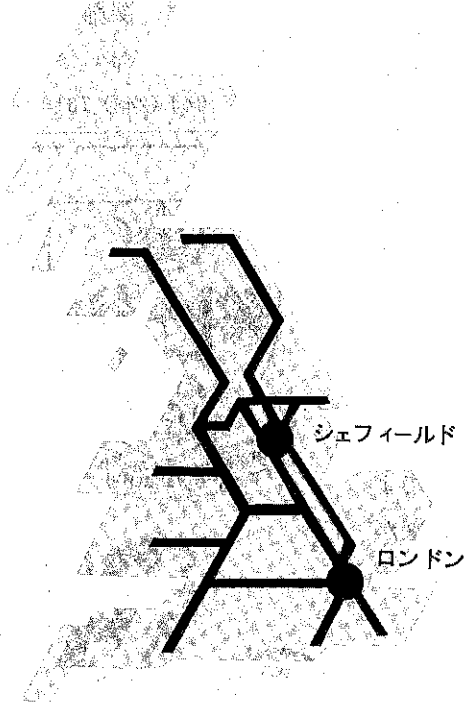
# シェフィールド市はこんな街

シェフィールド市は、ロンドン市から北へ約200kmに位置し、14世紀以来刃物と金属食器の町として有名でした。

人口は約55万人で、イギリスで5番目に大きい都市です。毎年約200万人の観光客が訪れ、1991年にはユニバシアードが開催されることになっています。

明治の岩倉使節団以来、日本と深い関係があり、産業革命を象徴するような黒煙と鉄鋼所を視察して感動した記録が残されています。

鉄鋼の街と言われるシェフィールド市は、公害の街でもありましたが、大気の浄化対策に努め、青い空と白い雲をとり返したのは、川崎市と全く同じです。



スポーツ施設や娯楽施設に富んだ商業都市でもあり、公共交通機関も発達し、物価も安い住みやすい街としても有名です。

市街地から車で10分も行くと、美しい田園に囲まれ、ピークディストリクト国立公園、ロビンフッドのシャーウッドの森が広がります。

シェフィールド近郊には、D、Hローレンス、バイロンの生地があり、シャーロットブランテの「ジェーンエア」の舞台となった街もあります。

川崎と似かよった都市として、大学を通じた交流が今後とも深まることを期待します。

ホームステイ・ボランティアを募集しています

### Schedule (案)

月・日 (曜)	スケジュール	月・日 (曜)	スケジュール	月・日 (曜)	スケジュール	月・日 (曜)	スケジュール
4・19 (水)	成田着 : 便 川崎着 : 便 オリエンテーション、歓迎会	4・29 (土)	ウォークラリー (多摩川)	5・9 (火)	学習 (総合教育センター) スポーツ見学	5・19 (金)	学習 (法政大学多摩キャンパス)
4・20 (木)		4・30 (日)		5・10 (水)	学習 (総合教育センター) 料理教室	5・20 (土)	
4・21 (金)	市内見学 (民家園、総合教育センター、市民ミュージアム等)	5・1 (月)	メーデー 労働組合との交流 (川労協)	5・11 (木)	学習 (総合教育センター) 行政研修	5・21 (日)	鎌倉、地引き網 三社まつり等
4・22 (土)	市長表敬訪問 : シンポジウム 13:00~ ウエルカムパーティー 16:00~	5・2 (火)	富士セミナーハウス	5・12 (金)	学習 (総合教育センター)	5・22 (月)	学習 (総合教育センター)
4・23 (日)		5・3 (水)	富士セミナーハウス	5・13 (土)		5・23 (火)	学習 (総合教育センター)
4・24 (月)	学習 (総合教育センター) (9:30~12:30) PM 自由	5・4 (木)	富士セミナーハウス	5・14 (日)	川崎市職員大運動会	5・24 (水)	川崎大師訪問 (野立て) 川崎港見学 ふれあい館訪問
4・25 (火)	学習 (総合教育センター) PM 学校訪問	5・5 (金)	富士セミナーハウス 帰川	5・15 (月)	学習 (総合教育センター)	5・25 (木)	学習 (総合教育センター)
4・26 (水)	学習 (総合教育センター) 料理教室1	5・6 (土)		5・16 (火)	学習 (富士通企業研修)	5・26 (金)	学習 (総合教育センター)
4・27 (木)	学習 (総合教育センター) 古典芸能鑑賞 (O・P)	5・7 (日)		5・17 (水)	学習 (法政大学多摩キャンパス)	5・27 (土)	スピーチコンテスト サヨナラパーティ
4・28 (金)	学習 (総合教育センター)	5・8 (月)	学習 (総合教育センター)	5・18 (木)	学習 (法政大学多摩キャンパス)	5・28 (日)	箕面市へ出発

# 自治研 センターニュース

1989. 2. 10

No. 76

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610



## 講演会 Part 1

### 「選挙—参院選，衆院選を 解説する」

講師 新井久爾夫氏（NHK放送文化調査研  
究所主任研究員）

日時 2月28日（火）午後3時～

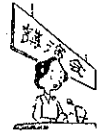
場所 市労連会館5階講堂

選挙。ヌエのような制度。民主主義の根幹  
として、ときには政権党のアリバイとして、  
ときには民衆世論の抑圧として利用される。

70年代以後、日本の保守化が進む。多少の  
揺れはあるものの、その振り子の支点が右へ  
右へと移っている。

リクルート疑獄，消費税。今，選挙をめぐ  
る風は，民衆側に味方する。保守がすぎり，  
利用する大喪は，権力の醜い姿だ。争点は明  
らかだ。地価，住宅，医療，教育費の暴騰，  
年金，健保，福祉の切り下げ。

しかし，何故，圧倒的な勝利に結びつかな  
いのか。予想されないのか。選挙を読む。



## 講演会 Part 2

### 「在川外国人から見た 川崎市政」

講師 エドワード神父（浅田教会）

日時 3月7日（火）午後3時～

場所 労働会館3階第2研修室

T. G. A. L. と共催

川崎の国際化を考えるシリーズ。

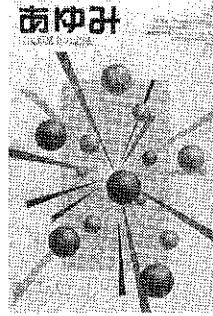
都市の国際化の課題についての講演を数回  
にわたって開催してきたが，大きなテーマの  
一つとして，在日外国人の人権と差別の問題  
が浮上してきた。国際交流を通じた国際化も  
必要だが，過去の歴史と現在の矛盾を踏ま  
え，在日外国人と地方自治体がどう信頼関係  
をもつか，大きな市政の課題となっている。

川崎市に長く在住し，公害病認定，指紋押  
捺等，行政の外国人に対する諸矛盾を体験し  
たエドワード神父の話聞く。

## お役に立てば

## 川崎市政資料紹介

「あゆみ」



1978年8月に区民懇は誕生し  
た。昨年で5期10年を終えた。  
88年11月に発行された「あゆ  
み」も第5号を数える。

当初，理念先行的に思われた  
区民懇も，歴史を重ね各区民懇  
が競合しあうように充実してき  
た。

分節連鎖都市という，一つの

### 区民懇話会の記録No. 5

都市として宿命的な課題をもつ  
川崎市。どうしても，各行政区  
の地域性に基づいた行政の展開  
が要求される。

間接民主制の市議会活動をと  
ときには補完し，ときには凌いだ  
論議を展開し，「われら人間コ  
ンサート」や「区民のつどい」，  
「野焼き土器作り大会」等を開  
催し，大学講座にも参加してい  
く実践，「道路の愛称」，「障害  
者の案内」等の市政への提言。  
各区毎に選出された委員50名7  
区合計350名が，手弁当で市政  
参加した努力の記録集だ。

多くの市民が登場し，行動・  
実践の写真が掲載され，経過，

報告，小論文と盛りだくさんだ。  
じっくり読める。革新川崎市政  
の草の根からの支えが感じとら  
れる。そして最後に，区民懇の  
課題を掲げる。いわく，委員構  
成の問題，まちづくりの意見を  
どう市民の運動に転化してい  
か。区民へのさらなる広がり，  
そして行政の対応等々である。

是非一読を進める。そして特  
に市職員には必読である。忌し  
い事件で信用を失墜し，その信  
頼を回復するためにも，こんな  
に多くの市民が熱心に市政の良  
き展開のために努力している姿  
を知ることは大きな励みとなら  
う。

## 友よ，書を読み街へ出よう

### 研究会

「サッチャー時代のイギリス—その政治，経  
済，教育—」

森嶋通夫著 岩波新書新赤版49

日時 2月27日（月）午後6時～

場所 市労連会館4階会議室

講師 佐藤紘毅専任研究員

シェフィールド大学教授の言である。住宅購  
入価格は3年間で倍になった。大学教員の給料  
は，実質賃金でマイナスになっている。福祉，  
教育予算は削られ，経済原理が大手を振ってい  
る。サッチャーは許せない。

著者は，1977年と78年に「イギリスと日本」  
（正・続）を著した。サッチャー出現以前のイ  
ギリスは，労働党が17年間，保守党が16年半，

交互に政権を担当した。政権が両党の間を移動  
しても，国民の福祉を増進するという大目的で  
は合意しており，国政の振幅は大きくなかった。

しかし，鉄の女は経済至上主義の哲学をふり  
かざし「反革命」を行っている。イギリスは変  
わった。

福祉・教育は切り捨てられ，フォークランド  
戦争には国の威信をかけて大金を費やす。イギ  
リスの民主主義の根幹たる地方自治制度を改編  
しようとしている。ヨーロッパECの統合（1992  
年）には断固反対し，イギリスの孤立化を招い  
ている。

経済学者としての著者が，変わったイギリス  
を政治，経済，社会，思想あらゆる側面から説  
く。

## 後援しました 共催します

第38次川崎市教育研究集会

主催 川崎市教職員組合

日時 2月9日(木)全体集会

講演 「子どもの生活と現実」  
～子どもたちが訴えていること～

汐見稔幸東京大学助教授

場所 多摩市民館

2月10日(金)分科会

場所 市立商業高校

「89春闘情勢と労働運動への期待」

清水嘉治神奈川大学教授

日時 2月14日(火)午後4時～

場所 川崎市教育会館2階大会議室

共催 川崎市教職員組合

シェフィールド大学川崎分校  
ホームステイを募集して  
ボランティアをします

### (4) 委託研究

他団体からの委託により、研究を行います。

今年度は、川崎市、地方自治総合研究所からの委託研究が予定されています。

### 3. 学習活動

#### (1) 講演会の開催

毎月1回、時宜に適った講演会を開催します。

講師の選定は、専任研究員と相談してきめますが、広く市民の参加を求めため、他団体との共催も追究します。

#### (2) 読書会・研究会の開催

文芸作品を読む読書会については、講師の都合により一時休止しますが、新しい講師がみつかりしだい再開します。

政治・経済・社会問題に関する著書を読む研究会については、佐藤専任研究員を中心に毎月最終月曜日に開催します。

#### (3) 外国語講座の開設

現在英会話の3講座を開設しています。

中国語講座については、受講希望者が大幅に定足数に満たなかったため、中止しています。PR等再開に向け努力します。

#### (4) シンポジウムの開催

1989年4月に来日する予定のシェフィールド市・大学と協力して、国際シンポジウムを開催します。川崎市・市内労働組合・市民団体・大学・神奈川県・大阪府箕面市等の参加を予定し、「地域を超え、時代を超え、思想を超えた学際的国際交流」を仮題とします。

#### (5) 加入団体が開催する研究活動への協力

加入団体が開催する研究会・集会等への協力を行います。

### 4. 出版活動

#### (1) 機関紙「自治研センターニュース」の発行

- ・内容 センターの活動報告、保存資料の紹介等
- ・発行部数 毎月6,000部
- ・配布先 会員、市内公共図書館、その他関係団体
- ・発行日 毎月10日

## うたぎのどこ

手塚治虫さんが逝った。「鉄腕アトム」や「ジャングル大帝」といったアニメに夢中になっていた頃を思い出す。

手塚漫画には、ヒューマニズムと地球愛が貫かれていたと聞く。地球と人類の平和を守るアトムや、森を侵略者(この場合人間)から守るレオの勇姿、そして主人公をとりまくキャラクターは、独特のナイーブな曲線ともあいまって、やさしさを感じた。

最近の劇画主体の漫画とは対象的だ。ウルトラマンが静かなブームだと聞く。20年以上も前のダサイウルトラマンおじさんだが、中期にさしかかる人のノスタルジーだけでなく、子供たちにも支持を受けるのは、その人類愛だという。

ゴジラも根強い人気がある。原爆実験から眠りを覚まされたゴジラは、人間の文化を破壊する悪役だった。しかし、時を経て、いつしか正義の味方に变身していく。こんなシーンを覚えていた。正義の怪獣モスラが、宇宙からの侵略怪獣キングギドラに立ち向かう。人間から悪者扱いされていじけるゴジラとラドンに助けを乞うが、拒否される。モスラは再び単独で戦いを挑むが全くかなわない。ゴジラとラドンは、モスラの悲壮な

姿を見て助けに行き、三者協力してキングギドラを退散させる。

地球を守るために団結した彼らの友情に感動した。

翻って、文部省が新しい学習指導要領を発表した。道徳教育を重視するという。そして日本の偉人として東郷平八郎が新たに加わった。鬼弥呼や聖徳太子の名も見える。民主憲法、民主教育が進められた四十数年。新天皇に代わった今、右傾化教育が表舞台に立った。教育は軽視できない。学校・義務教育はなおさらである。

子供の頃から、受験知識を詰めこまれた東大卒のエリート文部官僚には、人類愛や地球愛は理解できないのだろうか。

軍人や架空の人物を教科書で習うより、M78星云からワザワザ地球を守るためにやってきたウルトラマン、悪役から正義の味方に転身したゴジラ、そして何よりもアトムやレオのように愛と勇気を持った手塚漫画のヒーローから学ぶべきものが多い筈だ。

子供を守らなければならない。子供に愛と勇気の大切さを教えなければならない。

ソウダロ。リクルート高石を輩出した文部官僚諸君。同じ仲間として、忠告したい。

(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 3. 10

No. 77

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610

## I'm a International person.

### 英会話四月期生募集

好評をいただいております英会話講座。外国人からナマの英語で教えられ、その厳しさと楽しさに継続される方も多くいます。

今回は、ポルチモアの交換教師ダン

カン先生が退任され、カナダ人のローナ・ヒートンさんが初・中級の二講座を受け持ち、ティム・スコフフィールドさんは引き続き中級講座を担当します。

応募方法は、以下のとおりです。

初級講座	中級講座 (I)	中級講座 (II)
毎週 火曜日	木曜日	金曜日
午後6時から7時30分まで		
市労連会館4階自治研センター会議室		
Ms. Lorna Heaton	Ms. Lorna Heaton	Mr. Tim Scoffield
4月4日から5カ月	4月6日から5カ月	4月7日から5カ月
定員は20名		
受講料は 月4,000円 5カ月分 20,000円前納		
募集受付は、3月22日から電話で受付 044-244-7610 それぞれ定員に達ししだい締め切ります		

## 友よ、書を読み街へ出よう

### 研究会

「JRの光と影」

立山学著 岩波新書新赤版60

日時 3月20日(月)午後6時～

場所 市労連会館4階会議室

国鉄がJRになって、約2年を経過した。サービス

の向上、業績堅調といった積極面が伝えられる一方、東中野での事故のように、ムリなダイヤ編成、労働強化による安全性が懸念されている。

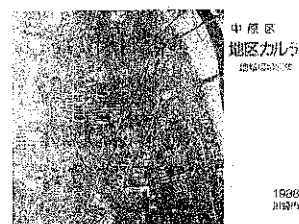
国鉄所有地売却が地価高騰の一因となり、清算事業団はどうなっていくのか見当もつかない。

国鉄解体の一つの目的としてあった組合つぶし。各地労委で不当配転に対する救済命令があいついで出さ

## お役に立てば——川崎市政資料紹介——

### 地区カルテ —地域環境図集—

「地区カルテ」



企画調整局調査部発行。各区分冊。1冊3,000円で販売。

巻頭の伊藤市長のあいさつ文は、「そこに住むすべての人びとが、都市をつくっている、あるいは、つくり直しているという実感を持ったとき、はじめて都市はリアルなものになる。」という文書から始まる。まさに、市民自治を追究する革新市政の真髓だ。

1976年、83年に続き、第3回目の地区カルテが、88年3月に発行された。情報の共有、公開、積極的な提供の動き、まちづくり、地域づくりのための議論の資料として、広範多岐にわ

たる地区カルテは、大いに役立つ。

各区毎に分冊された地区カルテは、地図、グラフ、表と統計的な資料をビジュアルに提供し、現状と課題を簡潔に表現している。

目次を開くと、「ゆりかごから墓場まで」ありとあらゆる場面で市民生活に密着した川崎市政が展開されていることを、あらためて知らされる。

例えば、中原区の医療機関の頁を開いてみよう。

中原区役所管内には、官民合せて、1つの保健所、10の病院があり、126の診療機関と105の歯科診療所がある。実に数多くの医療施設が、18万人の中原区の住民の医療を支えていることがわかる。

しかし、地図上に落とされた分布状況をみてみると、JRや私鉄の駅の周辺に偏在している

ことが瞭然となる。緑地部や住宅が少ないところもあるが、医療施設のマークがほとんどない地域の住民は不便を来しているだろうことが理解できる。

生活廃棄物の項をみると、オイルショックから立ち直り、日本経済が上向きになるにしたがい、ごみの量が増えていることが図示されている。廃棄物を減らすようなエコロジ的な市民運動が成長しないかぎり、ごみを処理するための費用が増えるのは当然のことだということがわかる。

膨大な資料に基づいた地区カルテ。統計資料を読みとる作業が、その地区の課題を明らかにする。地区カルテを有効に活用できるかが一つのカギだ。

市民が地区カルテに基づき、議論を展開し、市政への提言ができるとき、市民自治は大きく前進するだろう。

れているが、四分五裂した労働組合に「団結と連帯」がなかなか実を結ばない。

東京一極集中、マイカーモータリゼーションの限界性が指摘される今日、鉄道の復権の可能性はある筈だ。もう一度じっくり、国鉄からJRへの経緯を考える必要がある。

副本「日本の国鉄」原田勝正著 岩波新書黄版256



# 海外派遣研修のつどい

日時 3月27日(月)午後1時～7時

場所 産業振興会館9階  
記念講演 ルーシー・クラフト女史(アメリカ人ジャーナリスト)

「国際化ニッポン、その程度を測る」

——外国人記者から観た日本——

分科会 川崎市職員海外派遣研修生の発表を中心として

ふれあいパーティ  
参加費 1,000円

川崎市職員の士気高揚と国際化に通用する職員づくりのために生まれた海外派遣研修制度。ちょっとぜいたくだと言われるかもしれ

ませんが、派遣された職員は各職場で研修成果に基づく仕事をしたり、意欲的な姿勢で取り組んだり、その成果は充分に発揮されています。

特に市職員研修所から自治研センターに委託された若手職員を対象にした海外派遣研修第Ⅱ部は、そのユニークさが全国的にも注目されています。研究テーマは、市政に関することなら自由。論文と面接試験は、篠原一成蹊大学教授を始めとした学者陣を中心とした審査員が行い、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアに派遣されている職員は、訪問先も自分で決め、自分で交渉するという制度となっています。

海外派遣研修のつどいも今年で2回め。研修生OB、OGが実行委員会を結成し、自主的に運営するものです。

# ヨーロッパにおける勤労者の生活について

## ——余暇の過ごし方と社会参加——

川崎市主催で労働問題シンポジウムが開催されます。

日時 3月17日(金)午後6時から  
場所 産業振興会館ホール

**基調講演** マーティン・コリック教授(イギリス・シェフィールド大学)日本語で

**パネルディスカッション**

働く人のゆとりある生活の創造にむけて

## ——共に創る余暇と生き方——

89年春闘の最重要課題である労働時間短縮と週休二日制。

日本経済の堅調と好景気は、労働者の時短要求とは逆行し、労働時間の延長をもたらしている。残業、超勤、時間外等表現はともかく、長時間労働を余儀なくされている実態に変わりはない。

日本人はワーカーホリック?とんでもない。ゆとりのある生活を送りたいと思うのは、古今東西、人間の要求として不変だ。しかし、それが何故実現できないのか。

イギリスのシェフィールド大学のコリック教授を招き、ヨーロッパの勤労者の生活を参考にしながら、労働時間の短縮を考える。

# うなぎのどこ

北海道の白老ポロコタンを訪れた時のことである。

アイヌ人部落の観光名所として、アイヌの有形無形の民俗(族)文化が展示されている。

典型的なアイヌ人の家を模した場所で、民俗舞踊と歌が披露された。「ムックリ」という竹と

紐でできた楽器が紹介された時、百人以上の観衆からドッと卑下した笑いが起きた。

その耳に入る音から、性的なものを連想したのだから、釈然としなかった。

続いて、数人の女性が歌と踊りを演じてみせたが、奇異なものを嘲るかのような同様の笑いが起きた。

歴史的な単一民族論だとか、現代的な管理社会論だとか、私には難しいことは解らない。だが、異質なものは受けつけない。同じものには反応を示さないが、異なったものには過敏な反応をする。そして、即座に優劣を判断してしまふ集団の行動は良くないことだと思う。

仕事の忙しさにかまけ、人付き合いにとられ、遊興に時間をさかれ、ついでに同質なものの中に自分を置くことに慣れてしまふ。同じ立場にいることの安楽さに、自分を閉じこめてしまふ。疲れないから、めんどうではないから。

自治体の課題の一つに

ある国際化が、今一つ抜けきれないのは、多分このことの意味が大きいのだろう。

シェフィールド大学受け入れの関係で、大阪の箕面市の担当者と話をした。「国際化って、外国という異文化を理解することでしょう。」その言葉が印象的だった。

西洋文明、ヨーロッパ文化をなびかせたイギリスの学生がやってくる。彼らは、ホームステイを行って、ボランティアと交って異文化を肌で知ろうとする。

そこには、とまどいや気疲れは必ずともなはずだ。しかし、異文化を理解しようとする姿勢からは、卑下した笑いはいらないだろう。

受け入れる私達も同じだ。置かれている日常生活の環境や状況は変らなないが、そこに異文化をもった外国人が入り込んでくる。ささいな混乱は起きるだろうし、感情的な揺れも生じるだろう。国際化の第一歩は、そこから踏み出される。

多くの市民のみならず、シェフィールド大学の受け入れ事業に対してご協力をいただける。感謝したい。エラそうな表現になるが、川崎の国際化に向けて、大きなステップになることは確かだ。

成功させたい。(タイガ)



# 自治研 センターニュース

1989. 6. 24

No. 7 8

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610

## ヤア! ヤア! ヤア! シェフィールドがやってきた

4月19日, SABENA航空261便で、イギリスのシェフィールド大学日本研究所の1年生39名が日本に上陸。

早速、その日から川崎市での日本研修が始まった。午前中は、主に川崎市の総合教育センターでの日本語の授業。10人ずつ4クラスに分かれて、文法と会話の猛特訓。午後はフリータイムだが、ほとんどの学生が6月12日に予定されている進級試験のために、予習・復習・宿題の自習に費やした。

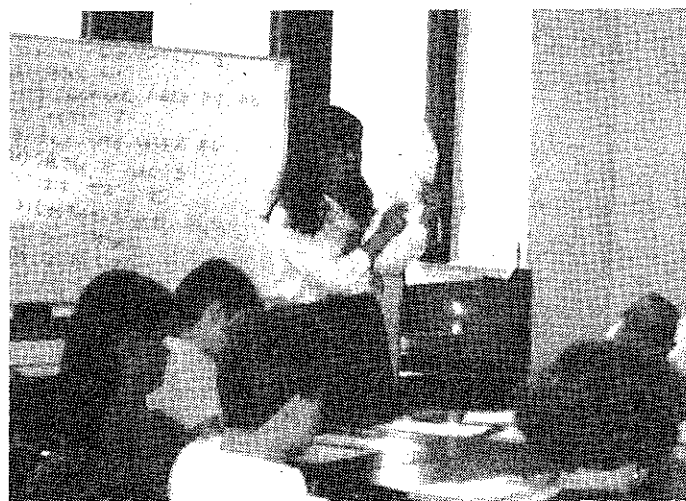
今回の来日の目的は、2年生以後それぞれの専門課程(経営学, 言語学, 文学, 政治学etc.)に入る前に、みっちり日本語を学習した学生が三学期目の正規授業を日本で行い、実際の日本語を完璧にマスターしようというもの。日本の大学とは違った、大英帝国ならではの教育方法であ

ると脱帽。

さらにもう一つの目的として、日本滞在をつうじて、日本の文化を肌で知ることがある。40日間の川崎での研修は、その二つの目的に則してたてられた。

NKKや富士通での企業研修、茶の湯・歌舞伎・能などの古典文化の学習、さらにはロッテ戦の見学、運動会の参加、料理講習など、いろいろな側面から日本を学ぶ機会があった。

### ▼授業風景



### ▼フリーフリーオリオンズ



### ——ホームステイ——

ボランティアのみなさん  
あ・り・が・と・う

また、滞在期間のほとんどをホームステイで過ごすため、それぞれ2週間づつ2家族に分宿し、日本の生活を実体験した。

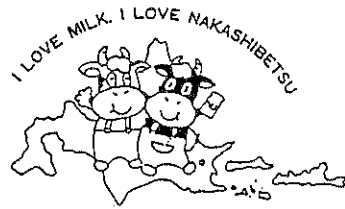
学生たちは、日本という東洋の異文化と経済大国といわれるバイタリティに接し、若干疲れをみせていたようだが、若さゆえかほとんどの学生が日本の生活に順応していった。

この事業は、当センターが川崎市の教育委員会から全面的に委託を受けたものであるが、多くの市民から善意あるボランティア協力、そしてホストファミリーの暖かな助力を得て大成功に終わった。

イギリスの学生の滞在をつうじ、川崎市の国際化にも大きな一歩を踏み出したこの事業、全国的にも初めての試みであっただけに、各方面から注目された。

### シェフィールド大学日本研究所川崎研修日程

月・日 (曜)	スケジュール	月・日 (曜)	スケジュール
4・19 (水)	成田着 14:40 SAVENA261 川崎着 17:00 歓迎会	5・9 (火)	学習(総合教育センター) 10 NKK訪問 ナイト見学 ロッテVS西武
4・20 (木)	オリエンテーション 市民プラザ 総合教育センター見学	5・10 (水)	学習(総合教育センター) 11 料理教室, 自習
4・21 (金)	市民見学(農家園, 総合 教育センター, 市民ミュー ージウム等)	5・11 (木)	学習(総合教育センター) 12 行政研修
4・22 (土)	市長表敬訪問 11:00~ シンポジウム 13:00~ ウェルカムパーティ 16:00~	5・12 (金)	学習(総合教育センター) 13 ホームステイ懇談会
4・23 (日)	ホームステイプログラム	5・13 (土)	ホームステイプログラム
4・24 (月)	学習(総合教育センター) 1 (9:30~12:30) PM 自習	5・14 (日)	川崎市職員大運動会
4・25 (火)	学習(総合教育センター) 2	5・15 (月)	学習(総合教育センター) 14 自習
4・26 (水)	学習(総合教育センター) 3 料理教室1, 自習	5・16 (火)	学習(富士通企業研修) 15
4・27 (木)	学習(総合教育センター) 4 横浜博覧会見学	5・17 (水)	学習(法政大学多摩 キャンパス) 16
4・28 (金)	学習(総合教育センター) 5 自習	5・18 (木)	学習(法政大学多摩 キャンパス) 17
4・29 祭 (土)	ウォークラリー(多摩川) 9:30 登戸集合 パーベークュー	5・19 (金)	学習(法政大学多摩 キャンパス) 18
4・30 (日)	ホームステイプログラム	5・20 (土)	ホームステイプログラム
5・1 (月)	メーデー 労働組合との交流 (川労協)	5・21 (日)	鎌倉見学
5・2 (火)	法政大学富士 セミナーハウス1	5・22 (月)	学習(総合教育センター) 19 自習
5・3 (水)	法政大学富士 セミナーハウス2 学習6	5・23 (火)	学習(総合教育センター) 20 自習 歌舞伎鑑賞(国立劇場OP)
5・4 祭 (木)	法政大学富士 セミナーハウス3 学習7	5・24 (水)	川崎大師訪問(野立て) 川崎港見学, ふれあい館 見学, 焼肉パーティ
5・5 祭 (金)	法政大学富士 セミナーハウス4 学習8 瀬川	5・25 (木)	学校訪問 薪能見学(川崎大師OP)
5・6 (土)	ホームステイプログラム	5・26 (金)	学習(総合教育センター) 21 自習
5・7 (日)	ホームステイプログラム	5・27 (土)	スピーチコンテスト サヨナラパーティ
5・8 (月)	学習(総合教育センター) 9 自習	5・28 (日)	箕面市へ出発



# モーツと人間的に 生きたいな

——北海道中標津酪農体験と青年との交流ツアー——

今年で3回目を迎えた酪農体験ツアー。  
道東の見はるかす太平洋の大自然のふと  
ころの中で、大きく胸いっぱい息を吸っ  
て、ウワーと大声を出しましょう。サイ  
コ〜っ。

グルーッと視界330°の展望開陽台から  
見た地平線に、青春を感じる。

生まれたばかりの子牛にふれ、機械化さ  
れた安全で清潔な搾乳に、そして都会の男  
よりセンスの良い酪農青年との交流に、自  
分をふりかえるキッカケをもった女性也多  
い。

ルネッサンス、アーバン&カントリーラ  
イフ、酪農体験ツアーに参加しましょう。

◎8月4日〜7日(3泊4日)1日だけ  
ファームステイ、あとはホテル宿泊、全

日程3食付き

◎料 金 5万円

◎主 催 中標津町農業委員会

◎申 込 み 自治研センターまで

◎電 話 244-7610

川崎区富士見2-5-2 労働会館

◎募集人員 10名(独身女性に限る)

8月4日(金)	羽田-釧路-阿寒湖- 摩周湖-開陽台-森林 公園(野外交流パーテ ィ)-酪農家宿泊
8月5日(土)	中標津町役場-標津町 -羅臼町-知床峠-養 老牛温泉
8月6日(日)	養老牛温泉-根室市- 新酪農村-酪農青年と の交流パーティー-市内 ホテル
8月7日(月)	ホテル-弟子屈町-鶴 居村-釧路-羽田



## 「北京激動以後——世界を ゆるがせた10日間」

講 師 辻 康吾東海大教授

日 時 7月4日(火)午後3時〜

場 所 産業文化会館10階  
第1会議室

中国が激動している。かつて、マルクス  
・レーニンと並び称された毛沢東が率いた  
中国社会主義、文革期の混乱を凌ぐ動乱の  
中国、マスコミで報道された部分は理解で  
きるが、何故の学生の反乱なのか、自由化  
要求なのか。

日本的な感覚での政治権力論では理解し  
得ない中国。

経済改革を進めた中国の変動を分析し、  
今後の展望を聞く。

## 友よ、書を読み街へ出よう

### 読 書 会

「現代日本の保守政治」

内田健三著 岩波新書新赤版61

日 時 6月26日(月)午後6時から

場 所 市労連会館4階会議室

難破船自民党。消去法から生まれた宇野  
新政権。派閥、金権の宿命的な業を担う自  
民党政治の終焉は間近か。その歴史を追う。

### 自治研センターニュース休刊のお詫び

4月・5月号と自治研センターニュ  
ースを休刊しました。一面の記事にも  
ありますように、シェフィールド大学  
の受け入れに事務局の全精力を注ぎ、  
ニュース発行の余力がありませんでし  
た。

今後、このようなことのないように  
スタッフの充実に努めますので、ご理  
解をお願いします。

## うなまのどこ

先日、カゼをこじらせて、  
一週間ほど入院した。  
健康だけがとりえであった  
小子にとって、生まれて初め  
での経験だった。

日頃、疲れがたまってきたとき、  
入院でもしてのんびりしたい  
と思っていたが、入院生活も  
けっしてのんびりしたもの  
はないことがわかった。

朝6時に起床、すぐに検温  
と看護婦の巡回。7時に朝食  
をとり、洗面等に時を費やす  
と、8時過ぎに点滴による治  
療。再び検温と看護婦の巡回。  
12時に昼食。1時から担当医  
の治療と問診を受ける。3時  
から面会時間が始まる。5時  
30分には夕食。三たび検温と  
看護婦の巡回。9時には消灯  
結構忙しいものである。

のんびり昼寝をしたり、読  
書したりできる時間は、ほん  
とくにわずかだ。  
日本では、ミヒヤエル・エ  
ンデの「モモ」が相変らずの  
人気である。先日、エンデ  
のお父さんの絵画展が開かれ  
エンデが来日した。

「モモ」の主題は、時間で  
ある。時間を買う灰色の人間  
と、屈託のない少女モモとの  
葛藤がおもしろい。

近代化は、生産と労働の時  
間をめぐる闘いの過程である。  
必ずしもそう断言しきれな  
いが、とくに合理化は、忙し  
さを伴う。

フォードのライン生産は、  
チャップリンの「モダンタイ  
ムズ」によって喝破されたが、  
コンピュータやファックスな  
どのOA機器は、時間短縮ス  
ピードを追求する合理化で  
あって、人間に精神的な疲労  
を与えるだけでなく、創造性  
をも奪うデメリットをもつも  
のである。

もつとのんびりとゆとりを  
持つことが必要だ。

週休二日制論議がかまびす  
しいが、平日の残業、日中の  
繁忙、これを勤労者の美德か  
ら、労働者の不徳、そして市  
民としてマイナスの評価とす  
るシステムづくりが先決だと  
したのは、3月に来川し講演  
したシェフィールド大学の  
マーチンコリック教授の言で  
ある。

(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 7. 25

No. 79

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610



## 講演会 Part 1

### 「環境が危ない」

講師 綿貫礼子氏 (環境問題研究家)

日時 7月19日(水)午後3時～

場所 中小企業婦人会館5階大ホール

地球規模の破壊が進む、フロンガスによるオゾン層の破壊、熱帯雨林の減少、酸性雨、温暖化、砂漠化、そして原発。

日常の経済・消費活動が青い地球をグレー化する。

古くは水俣病から、公害という名で認識されたマイナス・イメージが形を変えて我々の政治社会に課題を与える。

決してブームではない、一時の現象ではない。それは、反公害・自然保護運動の主な担い手が女性であることから立証される。

抑圧されてきた性としての女性が、主張しこだわり続ける。

構造的な変動が起きているはずだ。



## 講演会 Part 2

### 「私の街から戦争が見えた」

—謀略秘密基地・登戸研究所の謎を追う—

講師 渡辺賢二氏 (法政二高教諭)

日時 8月9日(水)午後3時

場所 川崎市労連会館5階講堂

謀略秘密兵器の研究・開発基地であった旧陸軍登戸研究所。敗戦と同時に闇に葬られたこの研究所内で何が行われ、地域・住民はどのように関わっていたのか。

現地調査、関係者への聞き取り、そして元タイピストが秘かに持っていた古い文書綴りを手がかりに、市民たちが登戸研究所の実像に迫る。

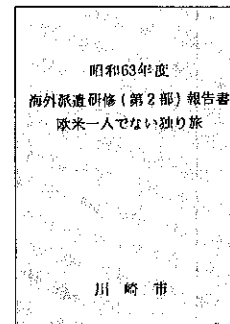
いま、再び戦争への道を歩まないために、市民の戦争体験を語り継ぐ。

同題名書(7月20日刊行)の紹介文より

## お役に立てば—川崎行政資料紹介—

「海外派遣研修(第2部)報告書」

### 欧米一人でない独り旅



自治研センターが、川崎市職員研修所とタイアップして行っている川崎市職員海外派遣研修第2部。今年で7期を迎え、既に65名の市職員が全国的にもユニークな海外研修制度を経験しました。

自ら設定した課題に基づいた

論文を提出し、篠原一成蹊大教授をはじめとする学識経験者による論文審査、面接試験を経て選考される。

海外での研修先や関係者と自らの力で、国際電話や郵便を使って連絡をとり、行きと帰りの飛行機を除けば、約1カ月間すべて独りで行動するという、従来の役人論理では考えられない制度だ。

88年度に派遣された6期生11名の報告書が刊行された。

自らが決めた課題に基づいた

研修報告であるので、熱気を感じる。スポーツ、動物、消防、自動車、市民運動、医療、教育等いろいろな側面から切りとった欧米諸国の見方は参考になる。また何よりも、この研修に協力された内外の関係者の多さに驚く。

今、この海外研修生や英会話受講生らが、市役所内外で自主研究グループを作り活動している。

巻頭の研究所長の言にもあるように、「誠に頼もしい」ことである。

是非、ご一読を。

## 友よ、書を読み街へ出よう

### 「ハイテク社会と労働」

森 清著 岩波新書

日時 7月31日(月)午後6時～

場所 市労連会館4階会議室

ぐる～っと職場を見わたせず、いたるところにキーボードとVDU。スーパーで買い物をする。家の中でもマイコン製品があふれる。全てがハイテクだ。デジタルだ。

しかし、人間はそれに順応しきれないのだ

ろうか。

ハイテク製品は、大企業だけで生産されるわけではない。中小企業の機動性と大胆さがそれを支える。そこには、かつての産業の二重構造が増幅されこそすれ、克服されることはない。



後援しました。

川労協主催『第2回川崎自治研集会』の参加要請について

日 時 1989年6月2日(金) 9:00~16:30

会 場 労働会館3・4F各会議室

主催と後援 川労協, 川崎自治研センター・川崎市

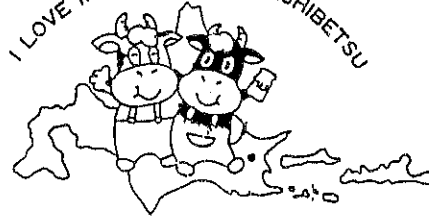
	時 間	テ ー マ	報告者(講師)	会 場
開 会	9:00~9:15	主催者挨拶	森山 議長	労働会館4F 第3会議室
全 体 集 会	9:15~10:45	I 新しい「地方の時代」 の創造をめざして	新藤 宗幸 (立教大教授)	労働会館4F 第3会議室
	11:00~12:30	II 「革新」市政の継承 発展のために	横山 桂次 (中央大教授)	労働会館4F 第3会議室
分 科 会	13:30~15:00 (問題提起)	I 都市の再構築と快適な 居住環境の創造	井上 裕幸 (企画調査局政 策企画部主幹)	労働会館4F 第3会議室
		II 交通結合体系の確立	岩堀 祥吉 (都市整備局 計画部長)	労働会館4F 第2会議室
	15:15~16:30 (自由討論)	III 福祉と医療の拡充	渡原 明 (民生局 福祉部長)	労働会館4F 第2会議室
		IV 文化・教育・国際交流 の振興	森山 定雄 (川教組委員長)	労働会館3F 第1研究室

# モーター 北海道したいな

8/4-8/7

あなたモーター  
司メに来ないか

I LOVE MILK. I LOVE NAKASHIBETSU



¥50,000円

主催 (社)川崎地方自治研究センター

中標津町農業委員会

後援 川崎市・中標津町  
全川崎労働組合協議会  
電機労連神奈川地協  
川崎地区同盟

募集 10名 \*独身女性

問い合わせ (社)川崎地方自治研究センター

☎ 044-244-7610

中標津

酪農体験ツアー

共催します

「川崎のアメニティを求めて」

講 師 新藤宗幸(立教大学教授)

日 時 7月25日(火)

午後10時50分~12時20分

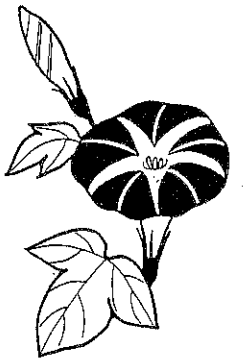
場 所 川崎市教育会館大会議室2階

(JR南武線「向河原」駅下車徒歩3分)

暑い夏が来る。ムワッとしたアスファルト道路からの熱気、眩しく反射するモール道路。

涼しい木陰が欲しいな。ギラギラした太陽から逃れたいな。

都市。そのアメニティとは何か。



## うたぎれどこ

大阪府箕面市主催の国際シンポジウム「地球時代のまち、ひと、ゆめ」に参加した。

日本研修の締めくくりとして、広島で平和を学んだシェフィールド大学の学生の報告を基調にしたもの。パネルディスカッションでは、シエパ大生、日本の大学生各三名と、小学校の先生がパネラーとして議論を展開した。

「平和」をテーマとしたが、論点は核兵器や大国間の力関係にとどまらず、熱帯雨林の破壊、開発途上国の飢餓、政治囚の人権、部落差別、中国の天安門事件等々、広範囲にわたった。

コメンテーターの初瀬龍平神戸大教授の言によれば、①平和の主体は誰であるのか、②個人の利益がどう世界に影響するか、このことを抜きにして平和は語れないということである。

大国間のパワーバランスから、国際的な相互依存さらには市民生活の経済活動、権利行使する平和に関係するという、「内なる国際化」の意味だろう。

議論は、学生特有の観念論的な色彩が強かったが、真摯に平和を追求する姿勢は好感がもてた。

「今、自分に何ができるか」。森林資源を守るため、割り箸を使うのをやめよう。政治囚のためにアムネスティ運動に参加しよう。平和を考える仲間づくりを進めよう。

結論はこのようなアピールめいたものに集約されたが、是非、参加者にはこれを機会に草の根の運動を展開してほしい。

最後に司会を務めたロニー・アレキサンダー神戸大助手のまとめが、印象に残った。

女史は、日本での就職の赴任先が広島に決まったと聞いたとき、泣きながら拒否したという。「どうして加害者の国の人間が、ヒロシマに行けるのか」。

悩んだあげく広島に行った。そこでは、表面的には自分に対する非難の目はなかった。

しかし、根源的などころでアメリカに対する恨みは流れていた。

広島の人と結婚する話を持ち上がった。誤解を恐れずに言うが、ヒロシマの遺伝的後遺症はないと聞くが、自分の生む子供がもし影響を受けるとしたら、苦悩した。

私たちは、こんな思いを自分の子供にさせたくない。そのために平和は守らなければならない。

「平和」はこれに尽きるだろう。

どんな高邁な議論より、私たちの心の中に「平和」を求める心をもっとも持ちつづけることが大切だ。

また、暑い夏が来る。昭和とともに忘れてはいけない、一九四五年夏。(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 8. 10

No. 80

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610

## May I help you?

### 英会話講座募集

好評をいただいております自治研センター主催の英会話講座ですが、引き続き下記の日程で開催しますので、受講希望者は自治研センターあてお申し込み下さい。

今回は、希望の多い、入門編（初歩）を充実させました。

	入門編	入門編	初級編
曜日	毎週火曜日	木曜日	金曜日
時間	午後6時30分～8時		
場所	市労連会館4階会議室		
講師	ローナヒートン	ティムスコップフィールド	
期間	9月～3月		10月～3月
費用	月4,000円×6=24,000円		20,000円
人数	各20人		

申し込み方法 8月21日(月)～25日(金) 自治研センターまで電話で、それぞれ先着順、定員になりしだい締め切ります。

### 友よ、書を読み街へ出よう

「フランス革命」——祭典の図像学

立川孝一著 中公新書

8月28日(月) 午後6時～

市労連会館4階会議室

フランス革命200年祭。アルシュサミットで華麗に披露された革命祭。「自由・平等・博愛」を掲げ、ルイ王朝を転覆させたフランス革命は、論じても論じ尽くされることはないだろう。



## アメニティ かわさき ツアー

——ヨーロッパ都市再開発地域研修——

自治研センターでは、かねてより外国語講座の開催、海外研修・視察の援助、さらにはシェフィールド大学との交流など川崎市の国際化に努めてきました。

今回、その国際化事業の一環として、ヨーロッパの都市再開発地域の実情視察研修旅行を企画しました。

街づくりに先進的に取り組むヨーロッパ各都市を訪ね、現地のプランナーや責任者から説明を受け、川崎の街づくりのために学習をしようというものです。

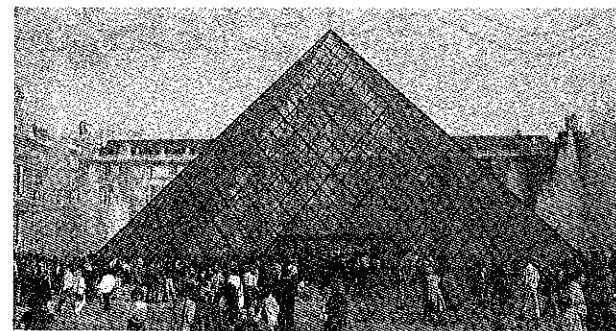
研修先では、専門の通訳も付き、自由行動以外の食事付き、宿泊は四つ星クラスで格安な値段で提供します。

お申し込み、問い合わせは自治研センターへ。(244-7610)

11日間  
468,000円

### 日程

日	月日(曜)	地名	行程
1	9月28日(木)	成田	空路(JALかBA)
		ロンドン	<ロンドン泊>
2	29日(金)	ノッティンガム	ブルウエルの都市再開発地区視察
			<ロンドン泊>
3	30日(土)	ロンドン	市内視察
			<ロンドン泊>
4	10月1日(日)	ロンドン	空路フランクフルトへ
		フランクフルト	ウェストエンドの旧市街地再開発地区の視察
			<フランクフルト泊>
5	2日(月)	フランクフルト	
		ハイデルベルグ	
		ローテンブルグ	<ローテンブルグ泊>
6	3日(火)	ローテンブルグ	市内視察
		フュッセン	ロマンチック街道
		ミュンヘン	<ミュンヘン泊>
7	4日(水)	ハイトハウゼン	ハイトハウゼン再開発地区視察、空路パリへ
		ミュンヘン	
		パリ	<パリ泊>
8	5日(木)	パリ	市内視察(デファンス地区等)
			<パリ泊>
9	6日(金)	パリ	自由行動
10	7日(土)	パリ	空路成田へ
			(JALかAF)
11	8日(日)	成田	



## シェフィールド市長 来川

イギリスのシェフィールド市長トニー・ダムス氏が8月10日に来川する。

原水禁平和会議に参加するため日本に滞在していたもので、同市にあるシェフィールド大学の学生の研修を受け入れた川崎市に対しお礼を述べてきたもの。

多忙なスケジュールの中、受け入れ実行委員長の高橋助役と会談し、今後のシェフィールド市と川崎市の友好関係が促進されることが話し合われる。

## 第2回理事会が開かれました。

7月24日(月)午後1時30分から、市労連会館5階会議室で、第2回理事会を開催しました。

主な活動報告は、イギリスのシェフィールド大学川崎研修の受け入れ事業、中国における文化・教育・医療事情視察への派遣、川労協主催第2回川崎自治研への協力、第3回北海道中標津町酪農体験ツアーの募集でした。

協議事項については、交通労組の役員変更に伴い、理事が曾根義久さんから梅田武さんに変更されたこと、補正予算案、そしてヨーロッパ都市再開発視察の実施でした。



## 活動報告

第1回理事会以降の活動は次のとおりです。

1989年			
3月23日(木)	英会話講座(初級Ⅰ) 地方自治制度研究会 第1回理事会(市労連会館)	30日(火)	定例学習会(在日外国人の人権について) 英会話講座(初級)
24日(金)	英会話講座(初級Ⅱ)	6月1日(木)	"(中級Ⅰ)
27日(月)	第3回海外研修のつどい(産業振興会館)	2日(金)	"(中級Ⅱ)
28日(火)	英会話講座(入門)		川労協第2回自治研究集会
30日(木)	"(初級Ⅰ) シェフィールド大学川崎研修事務局会議		(労働会館・自治研センター後援)
31日(金)	英会話講座(初級Ⅱ)	6日(火)	英会話講座(初級)
4月3日(月)	シェフィールド大学川崎研修事務局会議	8日(木)	"(中級Ⅰ)
7日(金)	英会話講座(中級Ⅱ)開講	9日(金)	"(中級Ⅱ)
10日(月)	シェフィールド大学川崎研修事務局会議	13日(火)	"(初級)
11日(火)	英会話講座(初級)開講	15日(木)	"(中級Ⅰ)
13日(木)	"(中級Ⅰ)開講 地方自治制度研究会	16日(金)	"(中級Ⅱ)
14日(金)	英会話講座(中級Ⅱ)	20日(火)	"(初級)
18日(火)	"(初級)	22日(木)	"(中級Ⅰ)
19日(水)	シェフィールド大学学生来川(40日間・5月28日まで)	23日(金)	"(中級Ⅱ)
20日(木)	英会話講座(中級Ⅰ)	24日(土)	自治研センターニュースNo.78発行
21日(金)	"(中級Ⅱ)	27日(火)	英会話講座(初級)
24日(月)	研究会(高齢化社会を考える)	28日(水)	海外派遣研修生事前研修
25日(火)	英会話講座(初級)	29日(木)	英会話講座(中級Ⅰ)
27日(木)	英会話講座(中級Ⅰ)	30日(金)	"(中級Ⅱ)
28日(金)	"(中級Ⅱ)	7月4日(火)	"(初級)
5月2日(火)	"(初級)	6日(木)	定例学習会(北京激動以後について)
9日(火)	"(初級)	7日(金)	英会話講座(中級Ⅰ)
11日(木)	"(中級Ⅰ)	11日(火)	"(中級Ⅱ)
12日(金)	"(中級Ⅱ)	13日(木)	"(初級)
16日(火)	"(初級)	14日(金)	"(中級Ⅰ)
18日(木)	"(中級Ⅰ)	18日(火)	"(中級Ⅱ)
19日(金)	"(中級Ⅱ)	19日(水)	定例学習会(環境が危ない)
23日(火)	"(初級)	20日(木)	英会話講座(中級Ⅰ)
24日(水)	定例学習会(アーバン・ランド・リフォーム)	21日(金)	"(中級Ⅱ)
25日(木)	英会話講座(中級Ⅰ)		
26日(金)	"(中級Ⅱ)		
28日(日)	シェフィールド大学学生箕面市へ出発		



## うなぎのどろ

プロレスのU・W・Fが、若者を中心にものすごい人気だ。ショー的要素をとりはらった真剣勝負の醍醐味に魅せられている。愚直なまでに相手を倒すことにかける選手たちに、ひ弱といわれる現代の若者が、ヒーローへの憧憬を体中に表す。

しかし、そこにはライトを浴びるリングへ決して自分を上ることはないだろう。つまり、自分は観衆の域を出ないのだという安心感がある。

参院選に社会党は圧倒した。女性を中心とした世論の地殻変動は、マスコミの煽りを受けて、横暴を続ける自民党政府を襲った。

選挙民は怒った。といわれるが、生来の天邪鬼は注文をつけた。選挙民に、自民党がどこまで負けるか見てみたいといったオモシロ志向はなかったか。一部を除けば、自分は決して選ばれる側に立たない。政治の舞台を、観衆として盛り上げただけではないのか。大きな流れの中で、意識の保守化は変わらない。

豊饒な消費社会に変化はない。煽りたて、はやしたてるパフォーマンス感覚だ。

その勢いに押され、社会党は現実的な対応を迫られている。だが、ちょっと待てよ。教条的な偏な姿勢は好ましくないが、無原則な妥協や譲歩はいいのか。

安保・自衛隊・原発等々、無原則に容認することがほんとうに望まれているのだろうか。愚直な闘いが、おおむこうをうならせることもある。

今の世の中には貴重な愚直さが、喝采を博すかもしれない。

(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 9. 15

No. 8・1

発行責任者 深堀義孝  
川崎地方自治研究センター  
電話 044 (244) 7610

## 友好深めましょう

——シェフィールド市長，

高橋助役を訪問——

8月10日，シェフィールド市長トニーダムス氏が，川崎市を訪れた。

原水禁の平和国際会議に参加するため来日されたもので，広島，長崎を回り，イギリスへ帰国する前日に，先のシェフィールド大学日本研究所の川崎研修事業に対する御礼を述べに貴重な時間を割いたもの。

市長は，他に91年にシェフィールド市で開催するユニバシアードに関連して，冬の開催地である札幌市も表敬訪問した。

わずかな川崎での滞在期間の中にも，8月にオープンしたばかりのK. S. Pを訪れ，川崎と同様に鉄鋼

を中心にした重化学工業からハイテク産業への構造転換を図るシェフィールド市の抱える問題点（特に雇用問題）等を質問されながら，熱心に見学された。

11日，高橋助役を公式訪問し，シェフィールド大学の御礼を述べるとともに，今後留学生・研修生の交換，小中学生の交流，経済，技術交流等を重ね，相互の友好を深めていくことを確認しあった。

シェフィールド市に限らずイギリスの地方自治体の首長は，議員の中から互選され，任期は1年で，多忙な日程を過ごさなければならぬ。ダムス市長自身



も，まだ40歳で，エネルギーギッシュな感じがした。シェフィールド市と市民生活のことを本当に強く愛しており，特に失業問題に関心が高く，福祉や医療・教育を切り捨てるサッチャー政権には強い憤りを抱いていたようだ。

今後，労働党の首長をいただくシェフィールド市と革新市政の川崎市との共通点も多く両市の親交は深まっていくことになる。

## 英会話 10月期生募集中

10月から再開する英会話初級講座は，先月号でも募集しましたが，若干の余裕が残っています。申し込みが遅れた方は，是非至急に電話で自治研センターあてご連絡下さい。

英会話初級講座  
毎週金曜日午後6時～7時30分

開講日 10月6日(金)  
市労連会館4階会議室  
講師 ティム・スコップフィールド氏  
費用 1カ月4千円6カ月分前納  
定員 20名  
申込先 ☎ 044-244-7610  
自治研センター

## 中標津酪農体験ツアー

8月4日から7日まで，第3回北海道中標津酪農体験ツアーが行われました。

今年参加した女性は6名。その内5名は，北海道が初めて。広さと自然の豊かさでは道内一の道東地方を観光に



ファームステイに酪農青年との交流に楽しい時を過ごしました。

中標津町主催の歓迎パーティーでは，進藤町長をはじめ町の有力者たちが多数参加。ちょっと緊張した彼女たちでしたが，「ポケット」から取り出した心のやさしさで，あたたかい交流の場となりました。

牧場に泊まった朝，ぐ～っと背伸びして牛や馬と戯れ，搾乳に忙しい牧場の人たちの仕事を見て，「いいナ～っ」と，思わず口に出してしまうみんなでした。

なお，この中標津酪農体験ツアーは，ラジオ日本の「声のひろば」で8月25日に放送されました。

空気はうまいし  
牛は可愛いし  
景色はいいし  
人はよいし

## 友よ，書を読み街へ出よう

「地球環境報告」石弘之著 岩波新書  
日時 9月25日(月)午後6時～  
場所 市労連会館4階会議室  
地球規模の汚染が進む。酸性雨，オゾン層破壊，原子力汚染etc。  
先進国論理が発展途上国を蝕む。砂漠化，病気，失業，権力腐敗etc。

かつて「開発」は，人の世に夢をもたらすものと喧伝された。しかしながら，今，生態系の破壊をもたらすものとして，戦争に並び大きな政治課題となりつつある。

どうなる？宇宙船地球号。

## ——川崎の教育改革協議会報告——

1989年9月5日、第10回目の川崎の教育改革協議会が開催された。

この協議会は、住民自治の拡大を基本にした、市民参加による地域からの教育改革を推進するために去年の10月4日からスタートした。

会長には、川教組の森山委員長、副会長には川崎市職労教育支部北條支部長と民生支部の原支部長がその任にあっている。また、研究委員長として岩淵自治研センター理事長も参加している。

協議会は約30名で構成されており、学校部会と施設部会の2つに分かれている。

学校部会では学校を地域の文化施設として位置づけ、より地域に開かれたものとするための方策等が話し合われ、施設部会では、社会教育施設・こども文化センター等について、こどもと地域を中心としてその役割と機能の見直しを行い、施設機能の充実、事業の実施等について検討している。

両部会とも地域の教育問題を解決するための「地域教育会議」について議論を重ねているが、予算編成期を前にして可能な部分については要求していく方針である。

今後は、年末にかけて中間まとめを行い、行政に対する予算要求や組織内での検討等を行う。そして来年の3月には最終まとめを出す予定である。

いきいきとした川崎の教育をめざして(1986. 11)は、小学校区ごとの教師・親・住民の意見交流と合意形成をはかるための場を提案している。

一方、川教組を中心とした「地域に根ざした教育を探る専門委員会の「校区からの教育改革」では、中学校区ごとに「校区協議会」を提案している。

青少年地域活動促進事業(中学校区ごと)が、学校中心になり、「非行防止」に重点がおかれ、パトロールが主要なプログラムになっているので、これを改革して、とりあえず中学校区レベルにおいて教育会議を設置するのが現実的と思われる。

# 「健康っていいナ」

## ——川崎市職労主催第3回かわさき自治研——

川崎市職労主催の第3回かわさき自治研が下記の日程で行われ、自治研センターが後援した。

今年のかわさき自治研の基調は「健康」。物は豊かになったが、ストレスのたまりやすい社会。環境破壊や食品公害。そして忙しさにまけての運動不足。

「私は、健康です。」といい切れる人は、ほんとうに少ないでしょう。

「市民とともにまちづくり」をめざす、かわさき自治研、その成果を期待したいところです。

### 川崎市職労主催第3回かわさき自治研日程

分科会名	日時	場 所	内 容
全体集会	9月7日	労働会館	講演・宇佐美彰朗東海大助教授 (元リベックラフナー) ・野田晴彦多摩保健所長
安全な消費	9月11日	国民生活センター	商品テストから
環境公害	9月13日	宮ヶ瀬ダム	水、その資源を探る
高齢者	9月11日	高齢社会福祉総合センター	在宅老人の介護を考える
地域医療	9月14日	多摩市民館	北部医療について
スポーツと余暇	9月12日	麻生スポーツセンター	市民スポーツのあり方
メンタルヘルス	9月13日	市労連会館	心の病を考える
平和	8月29日	県 内	地域から平和を考える



## うたぎのどこ

今年も暑い夏が終わった。夏の風物詩高校野球も、東京代表の帝京高校が優勝した。さて、まず弁解するが、小子は野球は、やるのもみるのも好きだ。白球を追う選手間のチームプレーに、爽やかな連帯感を感じるのが好きだ。

しかし、マスコミのフィーバーぶりには、いささか避易する。

地方版の紙面の半分以上は高校野球で占める。スポーツ紙は、プロ野球以上に大きく扱う。

若い汗と涙。その熱心な顔は、確かにいい。だが、それが大人の論理の中で、一部のスター選手がプロとの契約金を騒ぎ立てる。

数世代前の道徳観で、不祥事とやらを追及する。

そして女性には、あいかわらず、裏方として選手につかえるマネージャーと、可愛いさだけのチアリーダーにしか関心を示さない。

日本の封建的な遺制を再生し、増幅させるのが、高校野球をめぐる環境だと断言したら怒られるだろうか。

海部新政権の国民からの評判は良いようだ。あれほど騒がれた消費税も、廃止より見直し論が先行している。

7月の参院選挙、本格的に高校野球が始まっていたら、あのような結果になっていただろうか。

マスコミの影響は大きい。

私たちは、踊らされないようにするには、相当な努力が必要だろう。

(タイガ)



# 自治研 センターニュース

1989. 10. 17

No. 82

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

## つくるウ 市民の市政

既にご承知のように、伊藤三郎市長が健康を理由に任期なかばで退任することになりました。

18年間にわたって、川崎の革新市政を守り「青い空、白い雲」をモットーに、煙におおわれた川崎の街から公害を一掃し、保育園や子ども文化センターなどをどこの都市よりも充実させ、働きやすい市民生活、住みやすい快適な環境を追求した市政を展開してきました。

また高齢化、国際化、情

報化の時代に即した市政を展開し、115万川崎市民から愛されてきました。

リクルート事件では、自ら市政の信頼回復に全精力を注ぎ込み、市民からの理解を得たところです。

病いを精神力でカバーしてきましたが、市民の信託に応えられなくなったことを懸念し、後継者として長年伊藤市政を補佐してきた高橋清助役に、革新市政を託しました。

市民がつくる市民のため

の川崎市政をさらに充実させるため、高橋清さんに大いに期待しましょう。

### 高橋 清 前助役



## ご苦勞さまでした伊藤市長

## ガリバー地図ってなに？

—市民参加のまちづくりの手法を考える—

### 講演会

講師 中村昌広横浜国大助手

日時 10月18日(水)午後3時から

場所 市労連会館5階講堂

街づくり。それは市民の声を反映したハード、ソフトの街づくりでなければならぬ。

今、川崎市でも若手の職員を中心に、川崎の街づくりを考えていこうという機運が盛り上がっている。

街づくりに市民の声を引き出す方法もいくつかある。世田谷区で行われたガリバー地図もその一つである。

夢のある名前のガリバー地図。その手法を聞く。

### 参加してみましょう

とても大きな川崎の地図に、ガリバーのようになって、いろいろなことを書いてみましょう。

あそこに公園があったらいいな。あの街角は、街灯が暗くておっかないよ。この建物はおもしろいかっこうしてみんなの注目を集めています。etc.

何でも結構です。思ったことを書いてみましょう。

日時 11月3日(祝)～5日(日)

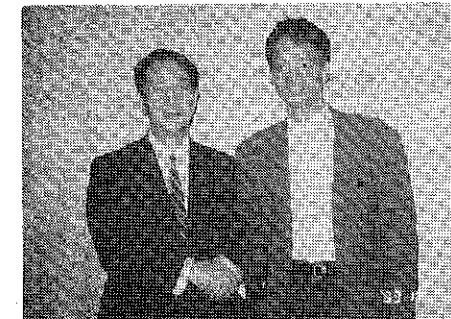
場所 労働会館大ホールロビー、働くもののまつり(かわさき市民祭り)会場内

## 第3回かわさき自治研総括集会

川崎市職員労働組合では、「市民とともに街づくり—健康っていいナ」を基調テーマに第3回かわさき自治研を8月29日から9月14日にかけて開催してきましたが、10月16日にその総括集会を行いました。

7つの分科会の報告と、全体総括の報告がありましたが、記念講演として「環境問題にこだわりたい」と山本コウタローさんが参加されました。

山本コウタローさんは、「走れコウタロー！」や「岬めぐり」等のヒット曲を生んだフォーク歌手ですが、広島での反核コンサートのプロデュースを



走れ！走れ！タカハシさん

をしたり、環境問題を中心に若者に政治参加の大切さを訴えています。

来賓として招かれた高橋清前助役とは、ご長男の同級生ということでもあり、「高橋のオヤジさん川崎市政を守るために頑張る」と激励されました。

山本コウタローさんが講演

# 祭りDEデート

参加者募集

## 中標津酪農青年との交歓会

11月3～5日川崎球場周辺で開かれる第12回かわさき市民祭り。川崎市との交流が深まる北海道中標津町から、開催期間中物産店が開かれますが、それと併行して中標津酪農青年との交流会が催されます。

毎年、中標津町での酪農体験ツアーと川崎市での交流会が催されていますが、今回は初めての試みとして市民祭りの会場で交流会を開くことになりました。

雄大な土地と、牧場の香りを直送して、酪農青年たちが川崎の女性との交流を求めています。是非、ふるってご参加下さい。

日時 11月4日(土)～5日(日)

集合 11月4日(土) 午後2時  
第12回かわさき市民祭り会場  
健康の広場休憩所

日程 11月4日  
午後2時 健康の広場に集合

市民祭り会場散策  
中標津町物産店訪問  
午後6時 交流パーティー  
会場 プライダルニューハトヤ

11月5日  
午前9時 自由行動

参加者 独身女性  
参加費 無料  
主催 北海道中標津町農業後継者対策委員会  
(財)川崎地方自治研究センター  
後援 中標津町、川崎市

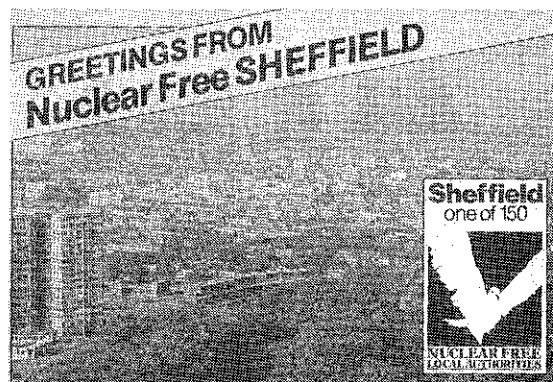


## シエフィールド大学で 日本シンポ

今年4～5月に、川崎市で日本語研修を行ったイギリスのシェフィールド大学日本研究所は、今年で創立25周年を迎えました。その記念行事として9月20日～22日にかけて、日本研究のシンポジウムを開催しました。

このシンポジウムには、日本からも社会科学系の学習、ジャーナリスト、エコノミストなどその道のリーダー的な人が参加しました。

自治研センターからも、委嘱研究員の高橋進東京大学教授、坪井善明北海道大学教授がシンポジスト、報告者として参加しました。



友よ、書を読み  
街へ出よう

「報道写真家」

桑原史成著 岩波新書87

日時 10月30日(月)午後6時から  
場所 市労連会館4階会議室

写真。真実を誠実に写すが、時としてトリックによるデマゴギーにもなる。

報道写真。どんな言葉より、決定的瞬間をとらえた映像が、私たちに強烈な印象を与える。

戦争、公害、自然、日常生活等々、報道写真を業とするカメラマンをとらえる。

## うなぎのどこ

大都市。この定義に24時間活動が加えられているという。国際化に伴いビジネス界は、金融情報を初めとし地球全体の情報収集と売買に奔走する。情報化は、不眠不休のコンピュータが稼働しつづける。交通渋滞は、比較的空いている夜間の行動が、経済効率から求められる。労働者は、フレックスタイムの導入、パートの活用などで深夜労働をしいられる。かつて、夜は若者の特権だった。体力にまかせて深夜までディスクで踊りふけ、深夜放送で全国の若者とのコミュニケーションをはかり、睡眠時間の少なさを競いつつ受験勉強にエネルギーを費やした。今、夜は老若男女問わずの世界になっている。カラオケスナックは午前3時4時まで開かれている。コンビニエンスストアは、24時間営業だ。映画館のオールナイトは、週末だけではない。真夜中にジョギングしている人もいる。テレビは、深夜映画のみならず、徹夜のディスカッションまで視聴率を稼ぐ。都会の人間は疲れている。当然だろう。このままだと、高齢社会になる前に、若くして死ぬ人間が増えてくる。子供の頃、夜になるのが怖かった。夏の夜、トイレにお化けが出そうでガマンした。遠足や運動会の前は、興奮して眠れず、母親のふとんにもぐりこんでやっと眠りに着いた。秋の夜の虫の声が子守唄になった。嵐の風雨が朝になって晴れて気持ち良かった。テルテル坊主やクリスマスのかくつ下は、眠らなければご利益がなかった。夜。夜は眠るものだ。夜は体を安めて、明日の白目の下の活動にそなえるものだ。大都会の24時間。私たちの手で、夜をとり戻すことができるのだろうか。(タイガ)

# 自治研 センターニュース

1989. 11. 10

№ 83

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

## さがして下さい あなたの「まち」

### かわさきガリバー地図

11月25日  
アゼリアで

市民参加のまちづくりの手法の一つとして  
編み出されたガリバー地図。

11月3日～5日、「働くものまつり」  
(かわさき市民祭り)の会場の労働会館大ホ  
ールロビーで実験的に川崎区・幸区のガリバ  
ー地図を行いました。延べ千人以上も地図  
の上ののって大盛況でした。

地図に書き込まれたプロットは数え切れな  
いほど多く、大人も子供も大きな地図から自  
分の家を探しては、「アッ、ここがボクん  
ちだよ」、「ここの道は違法駐車が多いよ」、  
「昔、ここに渡し舟が通ってました」etc、



こんなことも書いてありました



川崎のまちって広いんだネ

ワイワイガヤガヤ言いながら、いろんな事を書  
いてくれました。

11月12日(日)は、書かれたものについて  
実際に検証してみようということで、フィー  
ルドワークを行う予定です。

11月25日(土)は、地下街アゼリアで全市  
域を対象(22m×7mの地図)にガリバー地  
図を行う予定です。

川崎の「まち」に興味のある方、是非参加  
して下さい。また、当日手伝える方がいたら  
ご協力下さい。

友よ、書を読み街へ出よう

#### 「労働鎖国」のすすめ

西尾幹二著 光文社カッパビジネス刊

日時 11月27日(月)午後6時～

場所 市労連会館4階会議室

外国人労働者が多数入国している。研修の  
名の下に、あるいは難民となって日本にやっ  
てくる労働者が増加している。

政府は単純労働者は受け入れない方針でい  
るが、実態は好景気の日本の労働者不足とも  
あいまって、いろいろな所で仕事をしている  
外国人を見かける。

国際化が叫ばれながら、なかなか国際社会  
の一員としてその任務をまっとうしきれてい  
ない日本。その問題を考える。

## 近くなったネ 中標津



## 講演会

### PART 1

11月3日～5日の「かわさき市民祭り」に、  
北海道中標津町が名産品をもって出店しまし  
た。

好天に恵まれ、アイスクリームやヨーグル  
トはとぶように売れ、石狩鍋の試食セール、  
特産「伯爵」じゃがいもも大人気でした。

### PART 2

—酪農青年との交流会—

「祭りDEデート」と銘打って行われた、  
中標津酪農青年との交歓会。

11月4～5日にかけて、川崎の女性と交流  
しましたが、良いカップルが生まれるでしょ  
うか。

「バイオ・サイコ・ソーシャル医療の実践」

—バンクーバー・台北の精神医療に即して—  
講師 野田文隆氏(カナダブリッティッシュコ  
ロンビア大学精神科臨床研究医)

日時 11月22日(水)午後3時30分～

場所 リハビリテーション医療センターライ  
オンズホーム

ストレスのたまりやすい社会。精神医療を  
充実する市民要求は高い。

しかしながら、精神医療は社会環境の制約  
を受けながら遅々として進まない。

世界各都市の状況を聞きながら、日本の精  
神医療について考える。



市民まつりの会場で

# 来年もシェフィールドを

## よ・ろ・し・く

10月25日(水)、イギリスのシェフィールド大学日本研究所のフック教授が来川しました。

今年4月～5月にかけて川崎市で受け入れたシェフィールド大学学生の日本研修の御礼と、来年度の実施に向けて打ち合わせに来たものです。

後半の研修を受け持った大阪府の箕面市の担当者にも来ていただき、三者で今年の事業を総括し、来年度にむけての改善を話し合いました。

来年度もほぼ同じ時期に日本研修を行う予定ですが、イギリスの日本に対する関心が高くなっているのを反映してか学生の数が増えそうとのこと。

いずれにしても、川崎市民の国際交流事業に大きく寄与したシェフィールド大学の受け入れですが、また多くの市民のみなさんのご協力をいただきながら実施したいと思います。

よろしく願います。

### 地方自治制度研究会

自治研センターでは、主に若手の市職員に呼びかけて、「新しい市民参加を求めて」というテーマで学習会を月2回開催してきました。

現在、川崎市の各行政区の環境指標調査というテーマで、川崎市から発行されている

「地区カルテ」をより良いものにするため、市民の眼から見なおしをしています。

今後は、市職員に限らずいろいろな人から意見を聞き、議論をしたいと思いますので、関心のある人は、自治研センターあてお問い合わせ下さい。

### T.G.A.L情報

自治研センターと協力関係にある川崎の国際化を進める会T・G・A・L (Thinking Grovally, Act Locally) から、最近の活動情報が届きましたのでお伝えします。

1. ボルチモアからの交換教師アルバータ・スミスさんの歓迎会を行います。

日時 11月16日(木)  
PM 6:00～

場所 小杉こども文化センター

会費 1,000円

交流をしたい人なら参加が自由です。

2. 「外国人市民の権利保障について」のアンケート集約ができました。詳しくは最新の「企画情報」に掲載する予定です。

3. 英文生活情報誌完成間近に川外国人のための市民生活情報誌を作成中です。12月には刊行できそうです。

## つくりよう市民の市政



伊藤三郎前市長からバトンをうけ、高橋清前助役は、革新川崎市政の継承と発展、「市民とともに築く川崎新時代」に向け、市長選挙を闘っています。

社会党、共産党、ネット、社民連の推薦を受け、また多くの市民からの声援を背に、相手候補に対し正々堂々の論陣をはっています。衆院解散総選挙を間近に控え、川崎市長選

挙は全国的な注目を浴び、各地から応援に駆けつけています。

「地味で着実、純朴なまでの清潔さ」とマスコミに評された人柄で、市民に政策を訴え支持の輪は幾何級数的に広がっています。

消費税廃止、市民生活最優先の革新市政を継続させるために高橋清候補必勝に向け頑張らしましょう。

## うたぎぬどこ

一八年前。西暦一九七一年。サイクルが早くなった現代では、記憶をたどるのも難しい。伊藤革新市政が川崎に誕生した。横浜の飛鳥田、東京の美濃部の間にはさまれた川崎が遅ればせながら、革新自治体の一つに名乗りを上げた。青い空、白い雲を引下げた伊藤市政は、公害追放に執念を燃やし、福祉充実に全精力を傾けた。結果。川崎は、何とか住める町から、住みやすい町になった。

その間、二度のオイルショックをはさみながらも日本経済は成長した。地方自治体は国の干渉を受けながらも、地方の時代から地方新時代へと宣言しうるようになった。

行政改革攻撃は、公的責任の守備範囲をせばめたが、参加・分権・自治そして共生へと、市民の自治体への期待はますます高まっている。

革新と保守、双方とも市民本位、市民主義を掲げ、政策的な相違は不鮮明だ。

一八年。生まれた子供はもう成人になろうとしている。おそらく一五万市民の半分は、入れ替っただろう。

一八年前の革新市政誕生の大フィーバーは起こりにくいかもしれない。

しかしながら、革新市政の使命はまだまだ続く。革新と保守、分権と集権、参加と独断のひっぱりあいは続いている。

伊藤市政の終焉を、革新市政の鎮魂歌としてはならない。そのことをいちばん良く知っているのは、川崎市民であることに間違いない。

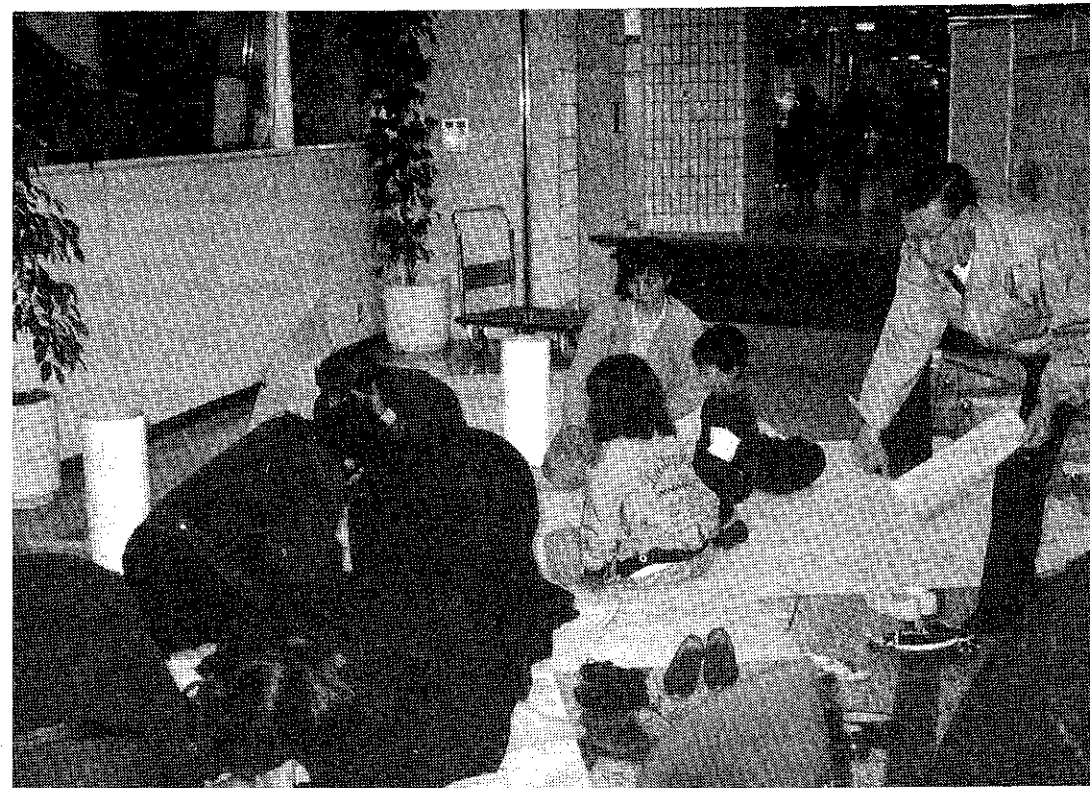
勝たねばならないこの選挙。高橋清必勝。(タイガ)

## ガリバー地図に思いをこめて

### ≡≡ わが街の再発見 ≡≡



さがしてみよう あなたのまち



ボクのウチはどこかな

市から区別都市整備構想指標調査事業の委託を受けている自治研センターは、11月25日、川崎地下街・アゼリアの中央広場で「ガリバー地図」を実施、買物などで訪れた市民の好評をばくした。

市内全域の住宅地図をつなぎ合わせた縦7メートル、横12メートルの大地図にのり、自分の家をさがしたり、街に対する印象や、夢や希望を自由に書いてもらい、市民の街に対する意見をすいあげた。

「昔はここに池があってよく泳いだもんだ」とのお年寄りの書きこみや、「港がもっとロマンチックならいいのに」「ここではホテル

が見られる」といった女子高校生らの想いが次々と書きこまれた。

午前10時から午後5時までの間に約千名の参加者があった。

ふだん何気なく見すごしている街並みも、ガリバー地図のおかげで新しい発見に気がついたり、隣町に住む人々の街に寄せる想いを感じ取ったりできたといえる。

今後、自治研センターでは「地区カルテ」の改訂のための資料として、当日に寄せられたアンケートを検討し、市政に対する市民参加の道をさらに充実させるためのシステムを考えていく方針だ。

# 帰ってきたヨ

## 海外派遣研修7期生報告会

日本語が話せる。いつものビールがうまい。11月22日(水)、職員研修所で、海外派遣研修第2部の報告会が開催された。

ヨーロッパ班6名、アメリカ班5名に分かれ合計11名が1カ月の旅に出たわけだが、その悪戦苦闘のもようを語ってもらった。

- ・ホテルに職場からはげましのよせ書きが届いて感激。
- ・ヨーロッパの寺院のすばらしさに「にわかクリスチャン」になりました。仕事があればこのまちで暮らしたいと思った。
- ・ラスベガスで35ドルすった。

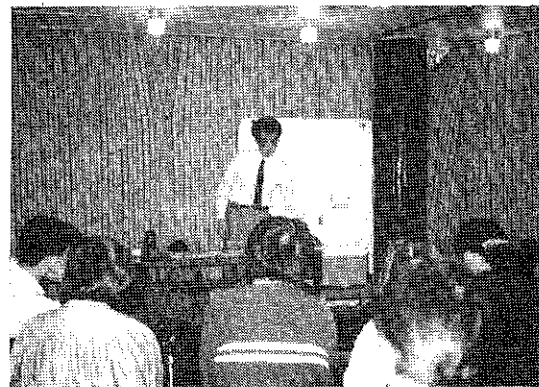
- ・レストランでは「ステーキ」は読めるのでそればかり注文した。しかしあきた。
- ・列車のコンパートメントで寝ていたら車庫に入ってゆきそうになった。思わず日本語で叫んだ……「止めてくれ！」。
- ・レストランで文字が読めないので適当に注文したら、ナシと果物とビールがでてきた。
- ・サンフランシスコで地震にあった。とにかく無事帰還をみんなで祝いあう。しかしこの後は机の上に積み重ねられた仕事の山と、きびしいレポート作成が彼らを待ちうけているのであった。



## 講演会

(報告)

11月22日(水)リハビリテーション医療センターにて「バイオ・サイコ・ソーシ



日本の精神医療を考える

ャル医療の実戦」のテーマで野田文隆氏の講演会を行った。

センターの講座を「出前方式」で開催するのは今回がはじめてであり、今後も要望に応じて地域で開催する。問い合わせは自治研センターまで。

(予定)

- 日時 12月14日(木)午後2時～4時  
場所 川崎市産業振興会館10F第1会議室  
内容 激動する東欧社会問題等を考える。  
講師 下斗米伸夫氏(法政大学教授)

## 「シビクトラスト」って何？

アーサー・パーシヴァル氏に聞く

「イギリスに学ぶ町づくりの思想」のテーマで10月23日、丸の内の日本工業倶楽部でアーサー・パーシヴァル氏の講演会が開催された。

氏は日本ナショナルトラストの招きで来日したもので、海外派遣研修第2部で板橋洋一(市職労)、及川清明(環境保全局)、平山南見子(環境保全局)の3名が5年前にイギリスで研修の時に世話になった。

及川・平山の両名で講演会に参加したところ、「川崎市の方々のことはもちろんよく覚えています。」とのこと。

シビクトラストとは1957年に設立された非営利団体で、その目的は生活環境の保全と再生に関する世論を喚起することにある。各地域のまちづくりについては、それぞれのボランティア会員の活動によって支えられている。

パーシヴァル氏は、「地方が独自性を失いつつあるのは、建築の分野における損失だけでなく、社会的な悲劇である。魅力あるまちと周囲の環境の良さはなんとしても守らなくては」と語った。(平山記)

## うたぎのどこ

「タイガさん長い間自治研ニュースの編集、お疲れさまでした。ところで自治研センターの仕事で一番印象に残っているものは何ですか。」

「やはり今年の4・5月にイギリスのシェフィールド大学学生を川崎での受け入れたことです。」

「あの時は本当に苦勞しましたね。しかしこれからは自治体も、そして職員も国際化しなくてはいけない。その意味から、川崎市の行政にインパクトを与えたと言えますね。」

「他の政令指定都市では国際交流課等が企画・立案し、民間の団体が事業を実施している。ところが川崎は、国際交流協会ができたばかりです。」

「自治研センターの役割は大きいですね。」

「という訳で編集がタイガからダイミアンに交代しました。」